

【令和5年度生ごみ処理機器モニターレポート Vol.26】

生ごみ処理機器を使用したモニターの声伝えていきます。



こちらの方は、2人家族で堆肥化目的のモニターです。

処理後の生ごみについて、これまではコンポストを活用し堆肥化してきており、これからの時期は降雪により使用できなくなることから、可燃ごみとして排出する予定だそうです。

投入前の下準備（水切り・分別）にかかる手間については、それほど苦になっていないようで、排出しているごみ袋にゆとりができていることから、それを上回る削減効果を感じているそうです。

ごみの減量化について、水分を減らすことにより排出するごみ袋の軽量化、すなわち収集作業の効率化につながっていると感じているそうです。

【令和5年度生ごみ処理機器モニター事業について】

令和4年度に続き、令和5年度も釧路市では生ごみ処理機器の新たなモニターを募集し、使用した感想を発信していくことで生ごみの減容・減量化への意識を醸成していく取り組みを行っています。

皆さんも、モニターの声をご参考にして生ごみの減容・減量化に取り組んでみませんか？

※掲載されている内容は、あくまでも生ごみ処理機器を使用した感想であり、機器の性能評価ではありません。

【問合せ先】

釧路市市民環境部環境事業課

TEL 0154-31-4551 FAX 0154-24-4145

ka-haikibutu@city.kushiro.lg.jp